

第96春季年会「優秀講演賞（産業）」表彰

産学交流委員会

日本化学会産学交流委員会では、平成8年度開催の第72春季年会から若い世代の講演発表者の研究活動の奨励を目的として「講演奨励賞」を、平成20年度からは「優秀講演賞（産業）」と改称して講演発表者を顕彰してきました。平成24年度からは、対象をアドバンスト・テクノロジー・プログラム(ATP)で実施されるATPポスターに限定して、審査・選考、表彰を行ってまいりました。

この「優秀講演賞（産業）」は、「産業に対する寄与が期待される基礎的または応用的な概念、アイデア、実験手法、実験結果などについての発表であり、発表者の研究に対する主体性や貢献度が優れ、且つ今後の研究活動の一層の発展の可能性を有すると期待されるもの」に対して会長名で表彰するものです。

3月24日(木)～27日(日)に同志社大学京田辺キャンパスで開催された第96春季年会では、審査希望のあった若手研究者（40歳以下の正会員および学生会員）の講演を対象に産業界の審査員が審査しました。ATP企画小委員会および産学交流委員会による厳正な選考の結果、申請のあった106件の中から今年度の受賞者として下記の7名が選出されました。高い評価を得て表彰に値すると選考された受賞者には、その栄誉をたたえ、さらに一層の研鑽を積まれますことを期待して、所属機関長を経由して表彰状をお届けしました。

優秀講演賞（産業）受賞者一覧

[エネルギー]

- 尾西 尚弥 氏（産総研創エネルギー研究部門、PD)
IPC-016「ギ酸の脱水素化による水素の大量製造」

[環境・資源・GSC]

- 井戸 洋平 氏（産総研触媒化学融合研究センター、PD)
IPC-042「フェムトリアクターを用いた環状シロキサン合成の反応制御」
- 今井 翼 氏（埼玉大院理、M1)
IPC-066「ナノ相分離構造を活性点とする貴金属フリー自動車排気ガス触媒」

[新素材]

- 細野 暉彦 氏（京大 iCeMS、特定助教)
IPC-095「配位星形高分子の合成と機能展開」

[通信・エレクトロニクス]

- 中江 隆博 氏（京大工研、助教)
IPC-128「新規アセン型グラフェンナノリボンを与える表面変型分子の設計と重合・脱水素縮環機構」

[医療・ヘルスケア・バイオテクノロジー]

- 谷口 伸一 氏（日立製作所、ユニットリーダー主任研究員)
IPC-135「分子鋳型ポリマと蛍光ラベル化ターゲット分子を用いた簡易検査チップの検出感度評価」
- 福島 和樹 氏（山形大院有機材料システム、助教)
IPC-161「界面水和に着目した生分解性ポリカーボネートの生体適合性向上」